

保育安全計画

◎安全点検

(1) 施設・設備・園外環境（散歩コースや緊急避難先等）の安全点検

ご自宅内 周辺	①緊急時避難場所を事前に確認し、シッターに共有する ②訪問前に避難経路を確認する。 ③保育の前に下記事項を確認する。 ・危険なもの（落ちそうなもの、切る恐れのあるもの、誤飲の可能性もあるもの、壊れたもの等） ・危険な場所（ぶつかる/つまずく/転落/やけど/指を挟む 等の恐れのあるところ）
戸外	・散歩や公園遊びの際は、経路を確認する。 ・公園では、遊具の対象年齢を確認する。

(2) マニュアルの策定・共有

分野	策定期期	見直し（再点検）予定期期	掲示・管理場所
重大事故防止マニュアル	2022年 8月1日	2023年 9月1日	研修時に配布。 改訂の際は、メールにて PDF データを配信。
■ 午睡	2022年 8月1日	2023年 9月1日	
■ 食事	2022年 8月1日	2023年 9月1日	
■ プール・水遊び	2022年 8月1日	2023年 9月1日	
■ 戸外活動	2022年 8月1日	2023年 9月1日	
<input type="checkbox"/> バス送迎（※実施している場合のみ）	年 月 日	年 月 日	
<input type="checkbox"/> 降雪（※必要に応じ策定）	年 月 日	年 月 日	
災害時マニュアル	2022年 8月1日	2023年 9月1日	
119 番対応時マニュアル	2022年 8月1日	2023年 9月1日	
救急対応時マニュアル	2022年 8月1日	2023年 9月1日	
不審者対応時マニュアル	2022年 8月1日	2023年 9月1日	

◎児童・保護者に対する安全指導等

(1) 児童への安全指導（認可外保育施設の生活における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全等）

乳児・1歳以上3歳未満児	<ul style="list-style-type: none">・自宅内では決められた場所で保育を行い、立入不可のスペースには行かないように声かけ・見守りをする。・危険な行為については、安全を確保しつつ、優しく丁寧な声かけで理由を伝える等の対応をする。・戸外活動の際は、「必ずシッターと手を繋ぐこと」を約束事として伝える。
3歳以上児	<ul style="list-style-type: none">・自宅内では決められた場所で保育を行い、立入不可のスペースには行かないように声かけ・見守りをする。・危険な行為については、安全を確保しつつ、優しく丁寧な声かけで理由を伝える等の対応をする。・戸外活動の際は、「必ずシッターと手を繋ぐこと」を約束事として伝える。・交通ルール（信号を守る、横断歩道を渡る際は左右を確認する、道に飛び出さない等）を伝える。

(2) 保護者への説明・共有

<ul style="list-style-type: none">・自宅内では立入不可のスペースの確認、普段のお子様との約束事などを共有する。・危険な場所・ものについて確認し、認識を共有する。・戸外活動では経路や行き先を確認し、保護者と共有する。
--

◎訓練・研修

(1) 訓練のテーマ・取組

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
避難 訓練等 ※1						
その他 ※2	誤飲・誤嚥の 応急処置			乳幼児の熱中症 予防・応急処置		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
避難 訓練等 ※1						
その他 ※2	乳幼児の心肺蘇生法 AEDの使用法			食物アレルギー エピペン使用方法		

※1 「避難訓練等」・・・認可外保育施設指導監督基準第3の1(2)の規定に基づき定期的実施する避難及び消火に対する訓練

※2 「その他」・・・「避難訓練等」以外の119番通報、救急対応(心肺蘇生法、気道内異物除去、AED・エピペン®の使用等)、不審者対応、送迎バスにおける見落とし防止等

(2) 訓練の参加予定者(全員参加を除く。)

訓練内容	参加予定者

(3) 職員への研修・講習（園内実施・外部実施を明記）

4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
誤飲・誤嚥の応急手当（社内実施）	乳幼児の熱中症予防・応急手当（社内実施）	乳幼児の心肺蘇生法・AEDの使用法（社内実施）	食物アレルギー対応（社内実施）

(4) 行政等が実施する訓練・講習スケジュール ※所属する自治体・関係団体等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目途にかかわらずメモする

・港区主催の保育に関する講習をスタッフに案内。

◎再発防止策の徹底（ヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策とその共有の方法等）

・事件事例、ニュースの共有
・ヒヤリハット事例の共有と、防止策の指導
上記、スタッフ全員に情報配信。

◎その他の安全確保に向けた取組（地域住民や地域の関係者と連携した取組、登降園管理システムを活用した安全管理等）

会社・シッター・保護者とで情報を共有し、連携して安全な保育を行う。